



## 2021年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月2日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門、コンプライアンス・IT推進担当 (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第3四半期の連結業績（2020年6月1日～2021年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	37,669	4.2	479	22.8	576	19.3	415	23.8
2020年5月期第3四半期	36,165	△0.2	390	△24.6	483	△19.8	335	△15.6

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 557百万円 (65.8%) 2020年5月期第3四半期 336百万円 (△16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	35.65	—
2020年5月期第3四半期	28.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第3四半期	38,870	20,629	53.1	1,768.28
2020年5月期	46,792	20,401	43.6	1,748.70

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 20,629百万円 2020年5月期 20,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	11.00	—	17.00	28.00
2021年5月期	—	11.00	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	—	—	17.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	2.3	1,550	4.2	1,650	2.3	1,150	2.5	98.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期3Q	11,772,626株	2020年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2021年5月期3Q	106,323株	2020年5月期	106,041株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期3Q	11,666,474株	2020年5月期3Q	11,708,265株

（注）期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2021年5月期3Q 72,400株、2020年5月期 72,400株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2021年5月期3Q 72,400株、2020年5月期3Q 30,930株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年6月1日～2021年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの要因から低迷いたしました。政府から緊急事態宣言が断続的に発出された影響等から、個人は消費を手控える傾向となり、企業も製造業を中心に業績の改善がみられるものの、設備投資を抑制する動きとなるなど、景気回復は見通せない状況となっております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、コロナ禍による外食産業の農産物需要大幅減や青果安、また、日本海側を中心に大雪による農業用施設の倒壊が多数発生するなど、農家経営に大きな影響を与える事象が多くみられる状況となりました。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業等が堅調な推移となり、売上高376億69百万円で前年同期比15億3百万円(4.2%)の増収となり、利益面でも、営業利益4億79百万円で前年同期比89百万円(22.8%)増、経常利益5億76百万円で前年同期比93百万円(19.3%)増、親会社株主に帰属する四半期純利益4億15百万円で前年同期比79百万円(23.8%)増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でカボチャの輸出が販売時期の遅れによる販売減があったものの、キャベツの輸出増や海外子会社での販売が堅調に推移したことなどから、売上高53億24百万円で前年同期比2.4%増収となりました。利益面でも、セグメント利益5億41百万円で前年同期比3.4%増となりました。

#### 花き事業

花き事業においては、コロナ禍での外出自粛による巣ごもり需要が家庭園芸・菜園分野でも発生したことや、当社の企画が販売先に比較的多く採用されたことなどにより販売増となり、売上高45億80百万円で前年同期比15.4%増収となりました。利益面でも、セグメント損失2億21百万円(前年同期のセグメント損失は2億44百万円)で損失は縮小いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント利益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

#### 農材事業

農材事業においては、除草作業の軽減に有効な茎葉除草剤が一般家庭へも普及したことなどから販売が増加し、売上高168億45百万円で前年同期比3.0%増収となりました。利益面でも、増収要因に加え業務効率化に努めたことから、セグメント利益4億79百万円で前年同期比32.5%増となりました。

#### 施設材事業

施設材事業においては、大型台風襲来より損壊した農業用施設の復旧需要が一巡したことによる販売低迷があったものの、夏の遮光灌水資材や冬の保温資材の販売増や、温室の完工売上高が増加し、売上高109億18百万円で前年同期比2.6%増収となりました。利益面では、低価格志向や比較的利幅の厚い養液栽培プラント関係の完工売上高が減少したことなどから採算性が低下し、セグメント利益2億88百万円で前年同期比9.3%減となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、388億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して79億22百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、182億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して81億50百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

なお、「資産の部」における受取手形及び売掛金の減少、また、「負債の部」における支払手形及び買掛金の減少は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、每期ほぼ同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、206億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月14日の「2020年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,744,528	3,447,948
受取手形及び売掛金	22,835,109	15,050,091
商品	8,464,509	9,242,825
その他	1,463,318	1,102,271
貸倒引当金	△23,063	△14,991
流動資産合計	37,484,403	28,828,145
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,210,675	4,192,872
その他(純額)	2,278,100	2,434,544
有形固定資産合計	6,488,776	6,627,416
無形固定資産	96,119	584,919
投資その他の資産		
その他	2,746,406	2,848,778
貸倒引当金	△23,087	△19,180
投資その他の資産合計	2,723,319	2,829,597
固定資産合計	9,308,215	10,041,934
資産合計	46,792,619	38,870,079
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,903,100	14,864,743
短期借入金	—	880,000
未払法人税等	234,102	21,044
その他	1,511,088	748,319
流動負債合計	24,648,291	16,514,107
固定負債		
退職給付に係る負債	1,403,591	1,403,450
役員株式給付引当金	16,192	33,292
その他	323,016	289,738
固定負債合計	1,742,801	1,726,482
負債合計	26,391,092	18,240,589
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	16,604,614	16,691,848
自己株式	△129,522	△129,943
株主資本合計	19,731,583	19,818,396
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,804	863,983
為替換算調整勘定	△41,850	△39,434
退職給付に係る調整累計額	△28,188	△13,671
その他の包括利益累計額合計	669,765	810,877
非支配株主持分	177	216
純資産合計	20,401,526	20,629,490
負債純資産合計	46,792,619	38,870,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
売上高	36,165,667	37,669,025
売上原価	30,178,412	31,595,154
売上総利益	5,987,254	6,073,871
販売費及び一般管理費	5,596,458	5,594,005
営業利益	390,796	479,865
営業外収益		
受取配当金	30,260	33,059
受取家賃	50,822	50,187
その他	30,881	34,797
営業外収益合計	111,964	118,044
営業外費用		
支払利息	9,599	9,010
為替差損	9,809	12,340
その他	53	39
営業外費用合計	19,462	21,390
経常利益	483,298	576,520
特別利益		
固定資産売却益	42,412	224
投資有価証券売却益	774	3,044
移転補償金	—	165,861
特別利益合計	43,186	169,131
特別損失		
固定資産処分損	29,895	41,235
減損損失	—	57,447
特別損失合計	29,895	98,682
税金等調整前四半期純利益	496,590	646,968
法人税等	160,626	231,005
四半期純利益	335,963	415,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	335,949	415,923

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	335,963	415,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,117	124,178
為替換算調整勘定	6,681	2,416
退職給付に係る調整額	15,565	14,516
その他の包括利益合計	128	141,111
四半期包括利益	336,092	557,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,071	557,032
非支配株主に係る四半期包括利益	21	42



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,197,184	3,970,782	16,356,091	10,641,609	36,165,667
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,934	1,010	34	1,390	68,370
計	5,263,119	3,971,793	16,356,125	10,642,999	36,234,037
セグメント利益又は損失(△)	523,942	△244,361	361,711	317,798	959,091

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	959,091
全社費用(注)	△568,294
四半期連結損益計算書の営業利益	390,796

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年6月1日 至2021年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,324,254	4,580,323	16,845,566	10,918,880	37,669,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	73,380	1,203	4	856	75,444
計	5,397,635	4,581,526	16,845,570	10,919,736	37,744,470
セグメント利益又は損失(△)	541,904	△221,907	479,429	288,191	1,087,618

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,087,618
全社費用(注)	△607,752
四半期連結損益計算書の営業利益	479,865

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、一部の資産の使用を停止したため、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において57,447千円であります。